

柿園管理情報 第1号

令和7年3月14日
城端果樹協会
砺波農林振興センター

1 概況

1～2月は、大雪となり、残雪も多く見られます。作業事故のないように十分に安全確認をしてください。向こう1か月の天候は、気温および降水量がほぼ平年並と予想されています（3/13新潟地方気象台発表）。なお、今後の天候によっては柿の発芽時期が早まる場合もありますので、発芽前の防除が遅れないよう注意してください。

2 防除について

- ・粗皮削りや発芽前の防除は、カイガラムシ類の密度低下に有効です。
- ・せん定時、枝に黒いすす状の汚れがみられる場合は、昨年カイガラムシ類が多発していた場所なので、散布ムラの無いよう確実に防除を実施してください。
- ・粗皮削りは、機械油乳剤95の散布前に行うと、より効果的です。
- ・炭そ病被害枝は、せん定時に発見次第切除して、ほ場外で適切に処分してください。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	100リットル 当り薬量	10a当り 散布量
発芽前 (3月末日頃まで)	カイガラムシ類	機械油乳剤95(※)	20倍	5リットル	350リットル

- ※：①発芽後の散布は薬害のおそれがあるので、必ず発芽前に散布してください。
②樹勢が弱っている樹では薬害のおそれがあるので、散布しないでください。
③暖かくて風の無い日で、散布後の数日間、降雨の心配が無い日を選んで散布してください。
④石灰硫黄合剤との近接散布は行わないでください（10日以上あける）。
⑤なお、石灰硫黄合剤についても、発芽後の散布は薬害の恐れがあるので、必ず発芽前に散布してください。

3 せん定枝処理について

- ・せん定枝は野焼きせず、ウッドチップパー（せん定枝粉碎機）で粉碎処理して、柿園地表面に薄く広げるか、積み上げて堆肥化させてから散布してください。
- ・なお、紋羽病発生の恐れがあるので、堆肥化していないものは土壌中にすき込まないでください。

●脚立での作業や、農業機械での作業時等の作業安全対策を徹底し、農作業事故発生防止に十分努めてください。

問い合わせ先：富山県砺波農林振興センター 園芸振興班 徳満 Tel32-8112